

公立高等学校長に対する 学校保健領域課題研修の実施と評価

学籍番号 219223

氏名 本田 史歩

主指導教員 平井 美幸

副指導教員 柿 慶子

第1章 緒言

管理職には、リーダーシップを発揮した学校組織マネジメントが求められていることから、高校生の教育課題の解決に向けては管理職がリーダーシップを発揮し、チーム援助を考慮した組織的な支援体制整備が必要である。併せて、チーム援助体制には、学校保健活動の中核を担っている養護教諭の役割が重要であるが、組織的な学校保健活動の推進が困難な状況である。教職員の資質向上等を図る指導主事の職務を踏まえ、本実践課題研究では、公立高等学校の管理職が学校保健領域課題においてリーダーシップを発揮し、チーム援助を考慮した組織的な支援体制を整備することを目標とした管理職研修について考察することを目的とした。

第2章 A自治体における管理職研修の実態

A自治体が所管する都道府県立高等学校の管理職研修の実態を把握するため、当該研修の実施要項・シラバス及び受講者アンケートから学校保健領域課題及びチーム援助に関係する内容の実施状況及び意識に関する評価について明らかにした結果、概ね管理職のニーズに応じた研修が行われているものの学校保健領域課題やチーム援助に関する項目の内容の研修はほとんど行われていなかった。公立高等学校の管理職がリーダーシップを発揮しチーム援助を考慮した組織的な支援体制整備を目標とした管理職研修の充実を図るため、チーム援助を考慮した組織的な支援体制整備に向けて校長のリーダーシップの発揮が非常に重要との示唆を得た。

第3章 校長のインタビュー調査に基づく 「チーム援助体制の構築に係る校長の役割・行動」

公立高等学校の学校保健領域課題におけるチーム援助体制を推進する示唆を得るため、学校保健に精通した公立高等学校長へのインタビュー調査からチーム援助に係る校長の認識、養護教諭への役割・行動の期待、校長としての役割・行動について明らかにした結果、養護教諭は生徒支援とともに教職員間で情報共有し、連携の窓口となっていた。また、特別支援教育や福祉の観点から踏まえた生徒支援を認識する校長の下、教職員への指導・判断・助言とともに、SCのコンサルテーションやコーディネーターの取組みによりチーム援助が行われていた。一方、教職員の共通理解・認識、教育相談担当教職員の資質・能力、養護教諭と教職員との連携・協働及び予防教育の実施が課題であった。養護教諭には、学校経営計画に基づく教育活動とともに、専門性による職務の遂行や校内外の関係者との連携・協働が求められていた。さらに、校

長は、学校保健領域課題や教育相談を学校経営計画に位置づけ、情報把握により教職員に支援の指示・指導・方向性を示し、思いや考えを尊重した判断や助言を行っていた。また、教育相談体制整備の困難さがあることも分かった。これらは公立高等学校の学校保健領域課題におけるチーム援助体制を推進する示唆になると言え、公立高等学校の管理職が学校保健領域課題においてリーダーシップを発揮し、チーム援助を考慮した組織的な支援体制を整備することを目標とした管理職研修に有用である。

第4章 「チーム援助体制の構築に係る校長の役割・行動」 に関する研修会の実施と評価

第3章で得られた示唆を踏まえ、チーム援助体制構築に係る校長の役割・行動についての研修会を実施し、研修後の質問紙調査から研修会の成果と課題を明らかにした結果、講義内容の理解が「チーム援助体制構築に係る校長の役割・行動」への実践に向けた意識につながっていたとの示唆を得た。併せて、「チーム援助体制構築に係る校長の役割・行動」の実践困難な理由における教職員の知識、教職員の多忙化、組織課題の3点の課題とともに、養護教諭には、個別生徒の情報収集のみならず学校全体の課題や情報を把握し、教職員とコミュニケーションをとりながら情報共有・情報発信を行うこと、専門性に基づいた判断を行うこと、教職員に指示・助言をすること、連携における窓口の調整役となることが求められていたとの示唆も得た。

第5章 成果及び課題

管理職研修の実態把握のもと、学校保健に精通した校長のインタビュー調査に基づくチーム援助に係る校長の認識、養護教諭への役割・行動への期待、校長としての役割・行動の示唆を踏まえた研修会を実施するとともに評価した結果、講義内容の理解が「チーム援助体制構築に係る校長の役割・行動」への実践に向けた意識につながっていたとことが明らかとなった。

本実践課題研究は、A自治体に限定していることから、他自治体においてもこれらの示唆が有効であるとは限らない。しかし、管理職に対する学校保健に関する研修についての調査研究の知見がほとんどない中で、貴重な実践的知見であると思われる。

第6章 結論

公立高等学校の管理職が学校保健領域課題においてリーダーシップを発揮し、チーム援助を考慮した組織的な支援体制を整備することを目標とした管理職研修について探究したことは、実践的知見をもたらしたと言える。これらの知見は、A自治体のみならず他自治体の公立高等学校の校長が学校保健領域課題においてリーダーシップを発揮し、チーム援助を考慮した組織的な支援体制を整備することを目標とした校長研修においても有用と言える。本実践課題研究は、目的を解明し貴重な示唆が得られた。